

「消防庁女性活躍ガイドブック」の作成について

消防・救急課

1 はじめに

すべての女性が輝く令和の社会へ向けて「第5次男女共同参画基本計画」が策定され、「2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会になること」が掲げられています。消防分野においても、女性消防吏員が増加・活躍することによって、住民サービスの向上及び消防組織が強化されることが期待されています。

消防庁では、平成27年に開催した「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会」の提言内容を踏まえ、全ての消防本部との共通目標として、「全国の消防吏員に占める女性消防吏員の割合を、令和8年度当初までに5%に引き上げること」を掲げています。

2 女性消防吏員の歴史について

ここで女性消防吏員の歴史を振り返ってみますと、昭和44年2月に神奈川県川崎市消防局において、女性消防吏員が採用されたことが始まりとなります。

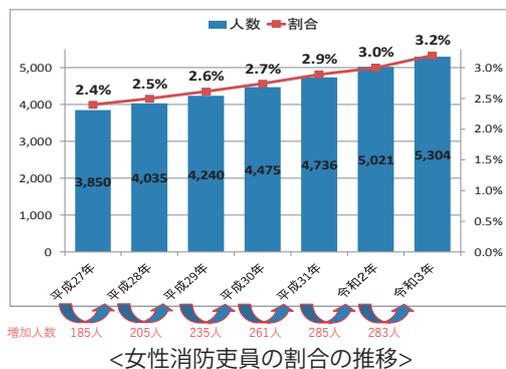
当時は、家庭の主婦や高齢者、子ども等に対する防火・防災教育等の予防業務（毎日勤務）が主な活躍の場でした。以降、女性消防吏員数は年々少しずつ増加し、担当業務についても、平成6年の女子労働基準規則（現・女性労働基準規則）の一部改正により、深夜業の規制が解除され、予防業務の他に交替制勤務（指令管制業務、救急業務）への従事も可能となりました。また、平成16年の消防庁消防課長通知により、警防業務（重量物、毒劇物等の一部業務を除く。）についても、男性と同様に従事することが可能となりました。

- ◆ 女性消防職員採用、職域拡大等に係る留意事項について
(平成16年2月6日付け消防庁消防課長通知)
- ◆ 女性消防職員警防業務への従事に係る留意事項について
(平成16年3月15日付け消防庁消防課長通知)

3 女性消防吏員の数、割合について

令和2年度における消防吏員の採用者に占める女性の割合は、平成26年度の3.5%から7.5%に倍増しており、令和3年4月1日現在、全国724消防本部のうち、593消防本部で5,304人の女性消防吏員が様々な業務で活躍しています。

全国の消防吏員に占める女性消防吏員の割合は、平成27年以降、毎年0.1～0.2%ずつ増加傾向にあるものの、現在「3.2%」に留まっており、目標である「令和8年度当初までに5%」の達成に向けて、女性消防吏員の活躍に関する取組をより一層推進していかなくてはなりません。



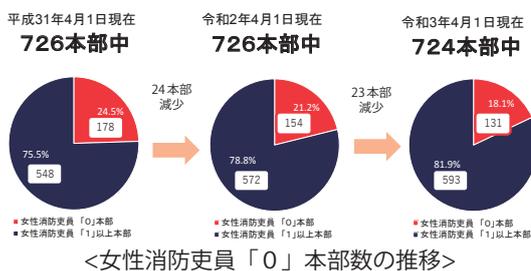
4 消防庁女性活躍ガイドブック

各消防本部における良好な取組事例を全国で共有し、様々な消防本部での女性消防吏員の活躍推進に向けた取組の参考としてもらうことを目的として、「消防庁女性活躍ガイドブック」を作成し、公表しています。平成29年度に初めて発行し、令和3年度で5回目となります。

具体的には、女性消防吏員の採用や女性消防吏員が働き続けやすい環境作り、消防本部内での管理職員の意識改革等に関する取組のほか、在職する女性消防吏員数が「0名」であった消防本部において、新規に女性消防吏員を採用した事例等を紹介しています。

また、平成30年度から実施している「女性消防吏員活躍推進モデル事業」において採択された、全国の消防本部における先進的な取組事例についても紹介しています。

女性消防吏員「0」の消防本部は、全724消防本部中、131本部で毎年大きく減少している。





《ガイドブック掲載事例の紹介》
～各消防本部の取組事例～



平成29年度版掲載
新潟市消防局（新潟県）
消防ジェンヌ2017（女性限定職場説明会）の実施



平成30年度版掲載
瑞浪市消防本部（岐阜県）
女性専用設備の整備



令和元年度版掲載
大館市消防本部（秋田県）
女性消防士採用促進PR看板の設置



令和2年度版掲載
秦野市消防本部（神奈川県）
女性隊員編成チームでの救助大会出場



令和3年度版掲載
柏市消防局（千葉県）
「にじいろ救命女子」の発足



令和3年度版掲載
駿東伊豆消防本部（静岡県）
マタニティ執務服の導入

《ガイドブック掲載事例の紹介》
～女性消防吏員活躍推進モデル事業～

モデル事業とは、平成30年度から実施している国の委託事業です。

目的

女性消防吏員の活躍をより積極的に推進し、消防力を充実強化していくため、全国で手本とすべき先進事例を構築し、各消防本部における検討の材料とするもの

委託団体

都道府県、市町村（特別区及び一部消防事務組合を含む。）、及び消防学校

委託費

1団体 20万円～200万円

委託内容

消防分野における女性消防吏員の活躍をより積極的に推進することを目指す事業

- 例) ・女性消防吏員の採用を増やすための取組
- ・女性消防吏員の活躍を推進するための意識改革や環境整備に関する取組
 - ・女性消防吏員の活躍について調査研究等を行う取組
 - ・女性消防吏員のリーダーシップを推進するための取組
 - ・男性消防吏員の家事育児参画を促進や、女性消防吏員のサポートをするための取組

応募方法

例年、消防庁が発出している「消防本部における女性消防吏員活躍推進モデル事業の委託に関する提案募集について」（消防・救急課長通知）をご確認ください。



令和元年度版掲載
岩手県
女性消防吏員PRポスターの作成



令和元年度版掲載
岩手県
女性消防吏員PRポスターの作成



令和元年度版掲載
静岡市消防局（静岡県）
ラッピングバスによる女性消防吏員PR広報



令和2年度版掲載
甲府地区広域行政事務組合消防本部（山梨県）
女性消防吏員PRのぼり旗の作成



令和3年度版掲載
北秋田市消防本部（秋田県）
女性消防吏員PR看板の作成
⇒ 地域おこし協力隊員のイラストレーターがデザインし、市内の中高生が標語を考案



令和3年度版掲載
山梨県
新聞広告による女性消防吏員PR広報
⇒ 1月19日の「119の日」に掲載

問い合わせ先
消防庁消防・救急課
TEL: 03-5253-7522